

5月8日、（仮称）豊川駅前複合ビル開発計画の起工式を開催

豊川駅前商業複合ビルの起工式が5月8日、豊川駅東口の土地区画整理事業区域内で行われました。事業者代表で土地所有者でもある名鉄都市開発株式会社、共同出資企業のオーエスジー株式会社、豊川信用金庫、加山興業株式会社、株式会社ハクヨコーポレーション、そのほか工事関係者、出店企業などから約40人が参列。2026年秋を予定している開業に向けて、工事の安全と成功を祈願しました。

起工式の挨拶で名鉄都市開発株式会社の日比野博社長は「地元の皆様が待ちに待った事業。その事業の一員として参加できることがうれしく、心を弾ませてこの場に来ました。何としてもこのプロジェクトを無事に竣工させ、ずっと地元で愛される施設になるように努力をしてまいります」と話し、関係者に協力を求めました。

株式会社ハクヨコーポレーションの笠原社長は「プロジェクトの始まりは今から5年前。当社がまちづくりを進める中で、豊川市の宿泊・オフィス需要や駅前の活性化が課題と感じていました。駅前の唯一残された正面地において、何らかのプロジェクトを実現できないかと検討を進めてきました。今回、各社さまにご賛同いただき、皆様とのご縁でこのプロジェクトができあがりました。これからがスタート。まずは工事を無事に成功させ、来年秋に完成した後は、私たちも活用しながら、自社の発展とまちづくりの活性化を両立できるようなプロジェクトにしていきたいと思っております」と述べました。

